

海の新時代の幕開けを待つ、ウォーターフロント都市。

## 神戸ハーバーランド

夕日を浴びながら、船がゆっくり進んでいきます。  
 海沿いの遊歩道には、そぞろ歩く恋人たちや家族連れ。  
 対岸に、美しく浮かび上がるポートタワー。  
 まるで外国映画のような風景のこの港町は、神戸ハーバーランド。  
 神戸の西の核として開発が進められているウォーターフロントです。  
 '92年の秋の街開きに向けて、開発工事也大詰め。  
 高層住宅やはね橋はすでに完成し、レストランもオープンして、  
 早くも神戸の新しいスポットとなっています。  
 文化・情報から、商業、教育・福祉まで  
 いろんな表情をもつ、新しい街が生まれます。  
 大好きな神戸が、また、素敵に生まれ変わりそう。  
 そんな予感にわくわくしながら、私もハーバーランドを散歩してみました。

### 本格的な街開きは、'92年秋

今、港神戸は生き生きと活気づいています。関西新空港開港を控えて、神戸でも、ウォーターフロント開発や国際的なプロジェクトが進行しているからです。  
 なかでも、ひときわスポットを浴びているのが、JR神戸駅南側のハーバーランド地区。「海につながる文化都心の創造」をテーマに、神戸市と住宅・都市整備公団などが、旧国鉄・湊川貨物駅跡地を中心とした一帯を再開発して

いる「神戸ハーバーランド整備事業」です。'92年秋の本格的な街開きを前に、さまざまな施設が続々と完成し、ハーバーランドはその全貌を見せてくれるようになりました。  
 海に面したハーバーランド広場にお目見したのは、ハーバーランドのシンボルとなりそうな「はね橋」。橋長19mの真ん中がはね上がり、入り江にヨットやボートが入ることができるそうです。昔の煉瓦倉庫は、倉庫の造りを生かしたおしゃれなレストランに生まれ変わり、若い女性やカップルでにぎわっています。

新しい街から、終りの無い夢とドラマが始まる



### 期待を集める、新しい港町

建物はもちろん、歩道や広場も神戸らしくおしゃれで洗練された雰囲気。トレンドイタな人たちの間では、新しいデートスポットになっているんですって。みんな情報通なんですね。  
 私が完成を楽しみにしているのは、高さ30mの明るいガラスの天井の下を、200mにわたって歩けるというショッピング街。この他にも、西武デパートや阪急デパート、ダイエーなどのショッピングセンター、ホテルニューオータニ、そして高度情報センターや総合教育センターなど、さまざまな施設が予定されていて、昼間は数十万人が活動するアクティブな街となるとか。街というより、もっと規模の大きい「ウォーターフロント都市」になりそうな気がします。  
 さて、レストランの窓から見える港の風景もすっかり暮れなずんできました。遊歩道の街灯にもロマンチックな灯がともされて、やっぱりここは彼と2人で来たいなァ…なんて思います。  
 きっと、この新しい街から多くの人たちの夢や幸せや、たくさんのドラマが生まれるんでしょうね…。街開きが待て待ち遠しい、ハーバーランドの夕暮れでした。



◇レポーター／岡橋典子